

【こんなところに目を向けてみませんか】

＜プラン作成者へのワンポイントアドバイス＞

問題解決型マネジメントから目標志向型マネジメントへ

- ①できないことをしてあげる、危ないからしてあげる(リスク回避)になっていませんか。
- ②サービス等の導入により、生活機能を高めるための支援になっていませんか。
- ③目標、サービス内容は本人と一緒に考えて立てましたか。

現在の生活を継続するために… (プロとして意識することは)

- ①改善の可能性を考え、どのような生活が送れるのかを今一度考える
- ②今できなくなつて一番困ることは何か？ 予防しなかったら、次にできなくなることは何か
→それを落とさないことを意識する
- ③最近できなくなったことで、もう一度できるようにしたいことを意識する

目標は、具体的な内容になっていますか・・・

＜介護予防ケアマネジメントにおける課題と目標の例＞

介護予防マニュアル改定委員会(2011.3)をアレンジ

課 題	目 標
セルフケア 清潔・整容、排泄の自立、 TPOに応じた更衣、服薬管理、食事、運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体に良い食事や運動を続けることができる ・自分で服薬できる ・トイレまで自分でいくことができる
家庭生活 日常の買い物、食事の準備、掃除、洗濯、 ゴミ捨てなどの家事、電球交換	<ul style="list-style-type: none"> ・お昼の炊事は、自分でできる ・洗濯物を取り込み自分でたためる ・自分の部屋に掃除機をかける
対人関係 近隣、友人などとの人間関係づくりと保持 役割	<ul style="list-style-type: none"> ・庭の草むしりや孫の世話をすることができる ・趣味の会に参加できる ・家族と良い関係で過ごすことができる
経済生活 自営業の店番・田んぼの見回りなどの仕事 預貯金の出し入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・近くのATMへ行き、自分で必要なお金を準備することができる
コミュニケーション 家族や友人への手紙やメール 家族、友人との会話、電話での会話	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友人と週1回電話で話ができる ・友人と手紙のやり取りを行えるようにする
外出と移動 自宅内、自宅外の円滑な移動 移動にバス・電車・他人が運転する自動車 を使用	<ul style="list-style-type: none"> ・週に2回は近くのスーパーへ買い物に行く ・天気の良い日、近くの公園に行き散歩する ・家族と1泊2日の旅行に行くことができる
コミュニティーライフ・社会生活 趣味、楽しみの継続 自治会や老人会の年行事・お祭りの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会のお祭りに参加できる ・週1回、趣味の会に参加するため外出できる

※ 目標: デイサービスに行くことが目的ではなく、何のために利用するのかを記入

項目	チェック項目	チェック
全体 (様式)	利用者基本情報と支援計画書の記載漏れはありませんか。整合性はとれていますか。	
	1 インフォーマル・フォーマルネットワーク、日々の活動及び役割の事項に記載はありますか。 (記載されていると、生活の様子を把握しやすくなります)	
	2 基本チェックリスト結果は基本情報に記載されていますか。	
3 基本チェックリストの該当項目についてアセスメントし、該当項目の状況・支援内容は記載されていますか。また、総合的課題に対する目標と具体策に自宅や通所等での支援内容の記載がある。		
目標	有効期間終了時のあるべき姿(以下「あるべき姿」とする)は、具体的なわかりやすい生活上の目標になっていますか。	
	4 自らが努力しながら達成できる目標になっていますか。(裏面参照) (改善の可能性のない疾病や状態を改善させる目標としていませんか。)	
5 既に達成されている目標を掲げていませんか。(自立支援の内容になっていますか。) (「～できる」「～できるようになる」になっていますか。)		
障害要因	あるべき姿を達成するために、障害となっているものが上がっていますか。	
	6 障害となっている要因は、病名や症状でなく、心の状態、身体の状態、環境等の情報を基に挙げられていますか。 <例:買い物に行く→膝痛・不安感・道が不整備・家族の支援力・意欲がないなど>	
状況・支援内容	現在の状況や要因を踏まえ、具体的な状況・支援内容が記載されていますか。	
	7 総合的課題に記載されている事項の「状況・支援内容」は、記入されていますか。 (状況や支援を受けている内容により総合的課題は、導かれるものです。)	
8 あるべき姿に対する生活の現状が記入されていますか。 <例:あるべき姿が、1Km先のコンビニまで歩くの場合、現在、家の周りを散歩しているが交通量の多い場所は不安がある など>		
総合的課題	あるべき姿に向け、利用者の意向、改善に向けた視点で記載されていますか。	
	9 総合的課題を見て、現状より自立した対象者の生活イメージや状態がわかる内容ですか。 (本人が、できるようになりたい、できるようにしたいことが記入されていますか?)	
10 障害要因のうち解決できる要因の原因を考え、それを解決するための課題となっていますか。		
総合課題に対する目標と具体策	総合的課題に対する目標を設定し、具体的な対策が記載されていますか。	
	11 総合的課題と目標・具体策の内容は、整合性はありますか。 (〇〇まで歩いて行ける。→自宅で運動 認知症予防→週1回のサロンに参加など)	
	12 総合的課題に対する具体策は、イメージできる具体的なものですか。 (誰がどこで何を行うかがわかりますか) <例:基準緩和サービスで運動習慣をみにつける。自宅で家族と一緒に週3回散歩する>	
	13 具体策が介護(総合事業)サービスのみになっていませんか。	
14 総合的課題に対して本人、家族や地域ができること、専門職ができることの記入はありますか。		